



笹ヶ岳の西麓にある鶏鳴の滝。上流の神有の滝まで遊歩道が続いている(駐車場から徒歩約20分)。さまざまな姿の滝を眺めることができる。



# 鶏鳴の滝

伝説と歴史の舞台を歩く

## 瀑布の水音に、黄金の鶏の鳴き声を聞く

**DATA 甲賀市**  
 ● 歩行距離▶約4km  
 ● 歩行時間▶約80分

三重県との県境に近い、甲賀市信楽町に標高739mの笹ヶ岳がそびえている。山頂付近にはかつて薬師如来を本尊とする寺院があったらしく、ここに古い伝説が残っている。元旦の朝になると、この寺の閼伽池(仏様に供える水を汲む水場)から黄金の鶏が現れ、新年の幸を告げたという。

笹ヶ岳山頂の南東尾根にある薬師堂跡には、閼伽池と思われる石積みの古井戸が残っている。大正の頃までは、日照り続きで田が水不足になると、この井戸をかきまわして雨乞いをしたとか(現地説明板より)。

この山の西麓に、伝説にちなんだ滝がある。信楽町を流れる大戸川の支流、神有川の

“鶏鳴八滝”は、神有川の下流から、初音(はつね)の滝、垂尾(しだりお)の滝、白神(しらがみ)の滝、鶏鳴の滝、白蛇(びやくじゃ)の滝、堰堤を越えて白布(はくふ)の滝、岩しだれの滝、神有(かみあり)の滝と続く。それぞれにたぬきの置物が添えられ、信楽らしい風情がある。



鶏鳴八滝のたぬきの置物

上流へ渓流をたどって遊歩道を登っていくと、鶏鳴八滝と呼ばれる8つの滝がある。その中のひとつが、鶏鳴の滝だ。幅11m、高さ13m以上はあるだろうか。白い水しぶきを飛び散らし、激しい水音を響かせる。美しい瀑布は清涼感を与えてくれる。

信楽焼の窯元散策に加え、

これからの紅葉の季節、伝説の舞台を訪ねて、滝まで足をのばしてみてもいいだろう。

徒歩の場合は信楽駅から約90分、滝の入口には駐車場もある。「コミタク」(タクシー車両を利用したコミュニティバス、要予約)を利用すると最寄りの集落まで行けるのも便利だ。

**“Walk on”とは**  
 「歩き続ける」という意味の他に、舞台をちょっと歩くだけの通行人のような「端役」の意味があります。多彩な伝説や物語をもつ歴史豊かな“近江”という舞台を、登場人物のひとりになった気分で歩いてみてはいかがでしょうか。



**モデルコース**  
 向出コミタク停 10分 神山堰堤 10分 分岐(永滝橋) 13分 鶏鳴の滝 13分 分岐 20分 向出コミタク停

※信楽高原鉄道信楽駅から「向出」までコミタクで約15分。「コミタク」利用には電話予約が必要。詳しくは甲賀市HP (<http://www.city.koka.lg.jp/>) 参照。  
 ※移動時間はあくまでも目安です。

バックナンバーをKEIBUNホームページ「湖国滋賀ウォーキングマップ」で公開中!  
<http://www.keibun.co.jp>

